

## 寿DIYの会との協働企画「防護ガウン製作」



本年5月、寿地区の有志の発案で発足した「寿DIYの会」では、寿地区内外の福祉作業所に手作り防護ガウンの製作を発注し買い上げることで、福祉作業所における作業の創出と感染予防ガウン不足の解消を両立する取り組みを進めています。

活動の輪が広がりを見せるなか、寿DIYの会からことぶき協働スペースに「この防護ガウン製作を寿のまちの雇用創出にも役立てたい」とご提案がありました。この提案を受け、地域との連携・関係づくりを進める私たちとしても、ことぶき協働スペースの登録ボランティアを中心に、防護ガウン製作に携わりたい住民と製作をガイドするボランティアを募集するなど、協力して取り組みを進めていくこととしました。

7月上旬、ことぶき協働スペースで説明会を行ったところ、数名の希望者が参加。ガイドボランティアを希望する方々に、寿DIYの会の活動趣旨

をご理解いただいた上で防護ガウンの製作手順を覚えていただきました。そして7月中旬、ことぶき協働スペースにおいて、いよいよ寿のまちの住民による防護ガウン製作が始まりました。

はじめこそビニールシートの切断位置を間違えたり、作業スピードに個人差があるなど試行錯誤していましたが、数日が経つ頃にはチームの息はぴったりと合い、参加者はすっかり職人の顔つきです。水曜日を除く毎日午前10時から午後4時までハツラツとした声が飛び交います。完成した防護ガウンは10枚ごとにパック詰め。地域の作業所と同じ1着100円で寿DIYの会が買い取り、寿地区の介護事業所や簡易宿泊所をはじめ、横浜市内の各所に配布されています。

寿地区の人々の底力を感じる防護ガウン製作。私たちはこれからも住民の皆さんと一緒に活動していきたいと思ひます。

### project 私だけの横浜を見つけない!! ～ Another Yokohama (アナヨコ) プロジェクト ～



寿地区周辺の若者と協働するまちづくり事業の一環で、4月からTiny's Yokohama Hinodecho※とことぶき協働スペースで働き始めた新人スタッフのコラボ企画がスタート。「この春から横浜に住み始めたばかり」「横浜で働くのは初めて」というメンバーの横浜のことをもっと知りたい気持ちから生まれました。この「Another Yokohama」というタイトルには、「私だけの横浜を見つけない」という想いが込められています。

とはいえ、このプロジェクトが始動したのは緊急事態宣言の真っ只中。本当はまちに出掛けてフィールドワークを実施したかったのですが、それが実現するのはもう少し先になりそうです。そこで考え付いたのが、オンライン上で仮想フィールドワークをしよう!というもの。7月21日にプレ配信、8月に2回オンラインイベントを開催しました。これからも実際に外に出てまち歩きができるまで、オンライン上で工夫を重ねながら進めていきます。今後の日程が決まり次第、ウェブサイトやSNSで告知するので、ぜひご参加ください!

※ Tiny's Yokohama Hinodecho (タイニーズ 横浜日ノ出町) は、横浜の日ノ出町の高架下にオープンした、ホステル、イベント・カフェラウンジ、水上アクティビティ拠点を持つ、タイニーハウス(ちいさな家)を活用し展開する複合施設です。

### 地域作業所の応援企画 第2弾

～「ギッフェリ」の作品の展示販売を9月30日まで～



福祉作業所との協働企画第2弾として、就労継続支援B型「ギッフェリ」の作品を展示販売しています。ギッフェリでは主に精神障害のある方が、パンの製造販売や清掃作業など、働きがいをもちて日々生活されています。

ギッフェリ(Gipfel)とは、スイスのドイツ語圏におけるクロワッサンのこと。その名のとおりヨーロッパ直輸入の生地を使ったクロワッサンをはじめ、おいしい焼きたてパンが大人気です。ことぶき協働スペースで

は、ギッフェリ特製の焼き菓子※を一つ100円で陳列販売させていただくことになりました。

また、洗濯機でも洗えて室内履きとして便利な「布ぞうり」、インテリア雑貨として飾ってもおしゃれな「ポストカード」、子ども用サイズも取り揃えてある「手作りマスク」などの自主製品を彩り豊かに展示販売しています。

ギッフェリ製品の展示販売は9月30日まで。

※9月末まではラスクのみ販売となります。アーモンド、ココア、白ごま、黒糖、シュガーなど種類も豊富です。

